

令和 8 年度進行管理

戦略点検シート

◎基本政策 1 子どもたちに輝く未来をつなぐ

主要課題	No. 9	学校施設等の計画的な改築・改修等
------	----------	------------------

● 4 年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●		主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。
4 年後の目指す姿	年少人口の増加や新しい時代の学び等、学校教育を取り巻く状況の変化への適切な対応により、子どもたちの良好な教育環境が確保されている。	
計画期間の方向性	○老朽化校舎の改築・計画的な施設の改修 「学校施設整備指針」等に基づき、老朽化した校舎の改築を行うことで、多様な学習活動に対応した指導を可能とするとともに、安全な学校生活を送ることができるよう施設面の整備を図ります。また、定期的な点検・診断により、施設の状況を正確に把握し、必要な対策を適切な時期に実施することで、施設の安全性を確保していきます。 ○小学校の学級数増への対応 児童数の増加に応じた普通教室の増設を適切に行い、子どもたちが快適な学校生活を送ることができる教育環境を整えます。	

事業費（令和 7 年度） 上段：実績 下段：当初予算

1 どのような事業で何をしたか（実績）		戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。		
事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割	事業費(千円)
39	誠之小学校改築	学校施設課	多様な学習活動に対応した、安全で快適な学校生活の環境を整備する。	—
	主な取組実績			—
	R5 (2023)	改築校舎（Ⅱ期）がしゅん工し、校庭改修工事に着手しました。		
	R6 (2024)	校庭改修工事が完了し、完全しゅん工となりました。		
40	明化小学校等改築	学校施設課	多様な学習活動に対応した、安全で快適な学校生活の環境を整備する。	3, 091, 062千円
	主な取組実績			(3, 134, 820千円)
	R5 (2023)	改築校舎（Ⅰ期）がしゅん工し、既存校舎西側及び既存園舎の解体工事に着手しました。		
	R6 (2024)	既存校舎西側及び既存園舎の解体工事を完了し、改築校舎（Ⅱ期）の建設工事に着手しました。		
	R7 (2025)	改築校舎（Ⅱ期）の建設工事が完了し、仮校舎解体工事に着手しました。		
41	柳町小学校等改築	学校施設課	多様な学習活動に対応した、安全で快適な学校生活の環境を整備する。	914, 415千円
	主な取組実績			(915, 046千円)
	R5 (2023)	解体工事(Ⅱ期)完了後、埋蔵文化財調査が必要となり、工期が延伸することとなりました。これに伴い、改築校舎（Ⅱ期）しゅん工までの間において、既存校舎での教室増対策が困難になる見込みであるため、第二仮設校舎の設計業務に着手しました。		
	R6 (2024)	改築校舎（Ⅱ期）の建設工事に着手するとともに、第二仮設校舎の工事を完了しました。		
	R7 (2025)	改築校舎（Ⅱ期）の建設工事を進めました。		
42	小日向台町小学校等改築	学校施設課	多様な学習活動に対応した、安全で快適な学校生活の環境を整備する。	330, 677千円
	主な取組実績			(634, 472千円)
	R5 (2023)	小日向台町小学校等改築整備方針を決定し、基本・実施設計の委託者を選定しました。		
	R6 (2024)	基本設計業務を進めました。		
	R7 (2025)	基本設計を完了し、実施設計を進めました。		

43	千駄木小学校等改築		学校施設課	多様な学習活動に対応した、安全で快適な学校生活の環境を整備する。	3,301千円 (438千円)
	主な取組実績				
	R5(2023)	千駄木小学校等改築基本構想検討委員会を第6回から第11回まで開催し、報告書を取りまとめました。			
	R6(2024)	千駄木小学校等改築整備方針を決定し、基本・実施設計の委託者を選定しました。			
	R7(2025)	学校関係者及び地域からの意見を設計内容に反映することを目的に、地域懇談会を全6回開催しました。			
44	学校施設等の快適性向上		学校施設課	安全で快適な学校施設を整備する。	3,259,449千円 (3,581,049千円)
	主な取組実績				
	R5(2023)	特別教室改修の工事及び設計を1校（根津小）実施しました。 老朽化が進んでいる特別教室の改修工事を計画的かつ効率的に実施するため、事業計画の策定を行うとともに、プロポーザル方式により設計の事業者を選定しました。			
	R6(2024)	特別教室改修工事を1校（根津小）実施しました。 老朽化が進んでいる特別教室の改修工事を計画的かつ効率的に実施するため、16校の設計業務を実施し、1校（礪川小）の改修工事に着手しました。			
	R7(2025)	老朽化が進んでいる特別教室の改修工事を計画的かつ効率的に実施するため、11校の設計業務を実施し、10校27教室の改修工事を完了しました。			
45	校庭、屋上防水及び外壁・サッシ改修		学校施設課	安全で快適な学校施設を整備する。	542,823千円 (704,259千円)
	主な取組実績				
	R5(2023)	校庭改修工事の実施設計を1校（金富小）、屋上防水改修工事を3校（礪川小、関口台町小、三中）、実施設計を1校（関口台町小）、外壁・サッシ改修工事を4校（礪川小、関口台町小、汐見小、三中）、実施設計を1校（関口台町小）実施しました。			
	R6(2024)	校庭改修工事を1校（金富小）、屋上防水改修工事を3校（関口台町小、汐見小、三中）、外壁・サッシ改修工事を2校（汐見小、三中）実施しました。 令和6年1月頃より全国的に電源ケーブルが供給不足となった影響で、実施予定であった関口台町小学校外壁・サッシ改修工事は令和7年度以降に延期となりました。			
	R7(2025)	校庭改修工事の実施設計を1校（第十中）、屋上防水改修工事を2校（関口台町小、汐見小）、実施設計を1校（青柳小）、修正設計を1校（礪川小）、外壁・サッシ改修工事を2校（関口台町小、汐見小）、修正設計を2校（礪川小・金富小）実施しました。			
46	給食室の整備		学校施設課	衛生環境や作業環境を整備し、子どもたちにより安全な給食を提供する。	4,180千円 (4,625千円)
	主な取組実績				
	R5(2023)	給食室のドライシステム化について、工事を1校（大塚小）実施しました。 老朽化が進んでいる給食室の実施設計を1校（林町小）実施しました。			
	R6(2024)	6年1月頃より全国的に電源ケーブルが供給不足となった影響で、実施予定であった林町小学校給食室改修工事は延期となりました。令和7年度に修正設計を実施します。			
	R7(2025)	令和8年度の改修工事に向けて、給食室の実施設計を1校（林町小）実施しました。			

47	小学校の教室増設対策		学校施設課	区立小学校の児童数の増加に応じ、適切な普通教室の増設等を行う。	17,540千円 (54,278千円)
	主な取組実績				
	R5(2023)	林町小学校及び駒本小学校の増築工事を完了しました。 湯島小学校及び本郷小学校の増築に向けた実施設計を完了し、増築工事に着手しました。			
	R6(2024)	湯島小学校及び本郷小学校の増築工事を完了しました。 昭和小学校の増築に向け、近隣の土地・建物の活用も含めた与条件の整理や配置案についての検討を進めました。			
	R7(2025)	窪町小学校近接地に建設予定の民間施設を活用した教室等増設に向け、基本・実施設計を完了しました。			
200	区立小中学校改築等に活用する仮校舎整備事業		学校施設課	大塚四丁目区有地に仮校舎を建設し、学校改築等に活用することで、学校運営に与える影響を抑え、工期の短縮を図ります。	— —
	主な取組実績				
	R7(2025)	大塚四丁目区有地に仮校舎を建設し、老朽化に伴う複数校の区立小中学校改築等に活用する方針を決定するとともに、「大塚四丁目仮校舎整備方針」を策定しました。			
●特記事項（実績の補足）					

2 社会ではどのような動きがあったか
(社会環境等の変化)

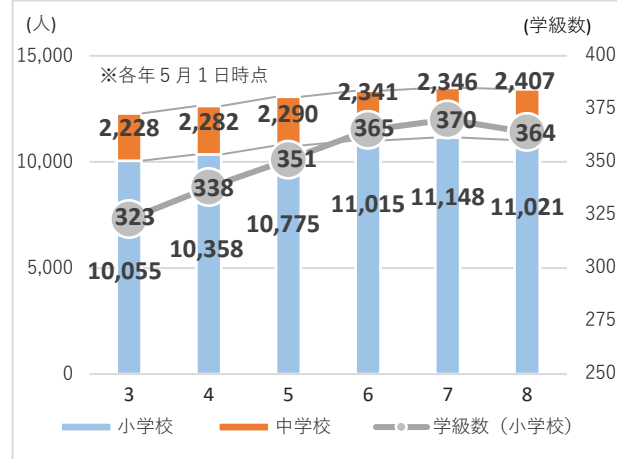
人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。

チェック	チェック項目
有	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）
無	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）

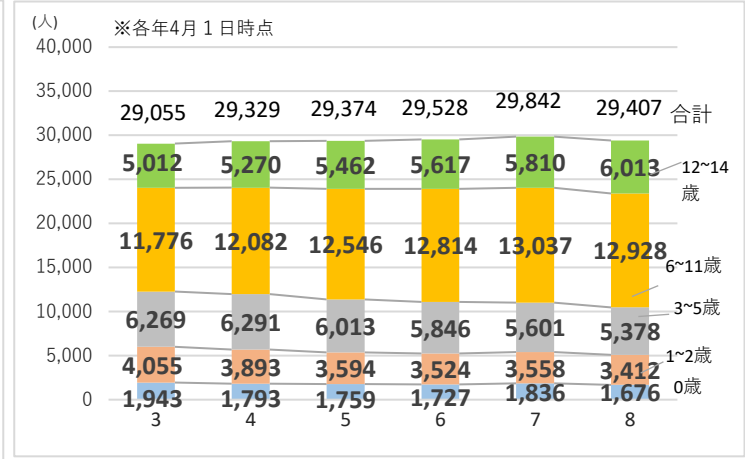
令和7年度に小学校の全学年が35人学級に移行しました。
義務教育標準法の改正に伴い、令和8年度より中学校においても35人学級に順次移行します。

3 成果や課題は何か（点検・分析）	1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。
○老朽化校舎の改築・計画的な施設の改修	
老朽校舎の改築や施設改修工事を計画的に行うことにより、安全で快適な学校生活を送ることができる施設の整備を進めています。 改築や大規模改修工事は大きな財政支出を伴うため、財政負担の平準化を図る必要があります。 改築にあたり、町会や学校関係者など、広く地域への情報伝達を行うための手法や、意見の集約方法について検討する必要があります。 大塚四丁目仮校舎整備にあたっては、スピード感をもった施設整備が求められるとともに、利用予定者等に対する説明を丁寧に行っていく必要があります。	
○小学校の学級数増への対応	
令和8年度に向けて、4教室の学級増に対応しました。あわせて、窪町小学校の教室増対策に向け、近接地に建設予定の建物を活用した教室増設について設計等を進めます。 今後も児童数の増加に伴う学級編制に対応するため、校舎の増築等を含めた、普通教室の増設を適切に行う必要があります。	

● 区立小・中学校の児童・生徒数等の推移



● 年少人口の推移



【SDGs の視点】



令和 7 年度は、4 教室の学級増対応に加え、明化小学校の新校舎及び後楽幼稚園の新園舎がしゅん工しました。施設整備にあたっては、幼児・児童・生徒の主体的な活動を支援できるよう、各学年の段階に応じて必要となる空間、学習・生活環境を確保できる適切な室構成及び位置に配慮しました。高度情報通信ネットワーク社会において生きる力を育み、幼児・児童・生徒が主体的に活動し、自らの意思で学ぶことを支える質の高い教育環境を提供できる施設整備を行います。



改築・改修等にあたっては、幼児・児童・生徒をはじめ、すべての人々が利用しやすいようユニバーサルデザインを推進する施設整備を行うとともに、地域施設としての学校の役割を考慮し、防災拠点としての機能の充実を図りました。引き続き、地域コミュニティの核、生涯学習等の基盤として、地域住民等が有効に活用することができる施設整備を行います。

4 今後どのように進めていくか（展開）

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、今後の戦略としての進め方を記しています。

幼児・児童・生徒の安全・安心のため、また、新しい時代の学びを実現する学校施設とするため、「学校施設整備指針」等に基づき、老朽化校舎等の改築・計画的な施設の改修を進めます。また、小・中学校の学級数増への対応については、年少人口の推移を注視するとともに、義務教育標準法の改正に伴う学級編制への対応についても引き続き進めます。